

くまがみね

学校だより
2024 (令和6) 年4月30日
福山市立熊野小学校



熊野小学校だからできること、熊野小学校にしかできないことに 挑戦！

やらされる勉強から、自らやる学びへ

～ 主体的な学習へ向けた「家庭学習」からのアプローチ ～

新年度が始まって1ヶ月が経過しようとしています。今年度は、「受け身」にならないように、学校（先生・子ども）が主体の教育活動をめざしています。その大きな柱が、全員一律の宿題を高学年から段階的に廃止していく家庭学習。

自分に必要な学習を自分で考える力をつけること。この力を育成するために家庭学習から取組を始めます。まずは国語科と算数科で行っています。5・6年生は、国語科を山口先生、算数科を栗栖先生がそれぞれ教科担任として指導しているため、2つの学年で同じ指導ができる利点があります。

先行実践を参考にしながら、「計画」「テスト」「分析」「練習」の4つのステップに分けた「学び方」を学んでいます。特に「分析」というステップが大切です。自分はどこが分かっていて、どこが分かっていないのか、苦手なのかをしっかりと自己分析できる機会が必要なのだと思います。それが次のステップへとつながっていくからです。

6年生が「宿題をやっている意味があるような気がする。」と言っていました。表現はしにくいかもしれませんが、この感想に「やらされている感がない」という効果が出ているのではないかと思います。

子どもの反応や実態に応じて、より効果的な学習になるように、また無理のないように進めていきます。まずは自分に合った学習の量を調整していき、少しずつ質的なものも考えていくことができるようにしていきます。



【5・6年生の教室前の廊下には、家庭学習コーナーが設けられ、学習したノートを提出しています】

先行き不透明で予測困難な時代が到来します。すでにそうかもしれません。子ども達一人一人が、予測できない変化に主体的に向き合って関わり合い、その過程を通して、自らの可能性を発揮し、よりよい社会と幸福な人生の作り手となっていけるよう、主体的な学びの実現に向けた授業改善が求められています。

この学び方、すなわち自分に必要な学習を自分で考える力が一人一人に身に付けば、主体的な学び（一人一人に合った学び）へ向けた授業改善もできると考えています。



【スクールカウンセラー相談日】

佐藤真智子先生（スクールカウンセラー）が月に1回程度来校されます。子育てなどで悩みを抱えておられる保護者のみなさまの相談にのってくださいます。相談の希望があれば、学校へ連絡してください。

1学期中のカウンセラー来校予定日をお知らせしておきます。

5月14日（火）9:30～12:00
6月11日（火）9:30～12:00
6月25日（火）9:30～12:00
7月2日（火）9:30～12:00